



令和5年4月28日

大泉学園幼稚園  
園長 加藤理実子



日/曜日	予定
2日(火)	柏餅の会食
3日(水)	憲法記念日
4日(木)	みどりの日
5日(金)	こどもの日
8日(月)	スプリングコンサート
9日(火)	出前防災講座
11日(木)	平常保育開始(年少) 給食(年中・長)
12日(金)	親子遠足……………1
15日(月)	離任式……………2
16日(火)	保育参観(年中)……………3
17日(水)	誕生会
18日(木)	内科検診 給食
19日(金)	親子遠足予備日 給食
24日(水)	保育参観(年長)……………2
25日(木)	歯科検診→6月9日へ変更
26日(金)	給食 移動動物園 給食
27日(土)	親子ふれあい day(全学年)…4
29日(月)	休み(振替休日)
30日(火)	保育参観(年少)……………2

1. 親子遠足については、後日手紙が配布されます。よろしくお祈りします。
2. 15日(月)に離任式を行います。米澤先生と根岸先生が来てくださる予定です。
3. 新入、進級等、新たな環境で過ごして3週間が経ちました。お子さんたちの今の様子をおうちの方に見ていただきたいと思ひます。詳細は、学年だよりにてお知らせいたします。
4. 27日(土)親子ふれあい day については、後日手紙を配布いたしますので、よろしくお祈りします。

### 長期休暇の預かり保育について

今年度の長期休暇の預かり保育についてお知らせします。

- 夏休みは【7/21、7/24～7/28、7/31～8/4、8/7、8/8、8/16～8/18、8/23～8/25、8/28～8/31】の23日間。
- 冬休みは【12/21、12/22、12/25～12/28、1/4、1/5、1/9】の9日間。
- 春休みは【3/21、3/22、3/25～3/29】の7日間。

を予定しています。(変更する可能性もあります)  
※詳細につきましては、各時期の1か月前にお手紙にてお知らせいたします。

### わくわくクラブについて

今年度も未就園児親子を対象にした『わくわくクラブ』を行います。お申込み方法は、ホームページに掲載しています。

- ① 幼稚園に入る前の子供たちが、同年代の子供たちと一緒に楽しい経験ができる場所として
- ② 保護者の方にとっても、子育てについての悩みを相談できるママ友達をつくる場所として

地域の皆様にご参加いただけたら幸いです。ぜひ近隣のお知り合いの方にもお知らせください。

### 給食の試食について

先日は給食の試食をして頂きました後に、感想等を伺いました。その日のメニューが、和食の日でしたが、概ね、美味しかったとの感想をいただいております。小学校の給食も扱っているとのこと、健康的な味付けや材料等には、気を配っているとのこと、次回には、専属の栄養士さんとの相談にも応じてくださるとのことでした。一年を通して、様々なメニューがありますので、再度試食を希望する方がいましたら、ご相談ください。

### 写真の掲載について

年少中組においては、ほとんどの方から承諾を頂きましたので、安全面には引き続き配慮しながら、子ども達の様子を出来る限りお伝えしていければと思ひます。ご理解、ご協力に感謝申し上げます。年長組においては、様々なご意見があり、一律には対応が難しいと思われまますので、載せ方を考えていきたいと思います。(活動内容が一番多い学年となりますので、できる限りお伝えしていければと思ひますが、従来通りの載せ方でどうしても「NG」の方は、お手数をおかけして恐縮ですが、お知らせ頂けましたらと思ひます) 難しい方が多い場合は、選択しながらの対応は難しいことになりそうですので、この学年においては載せないことも検討しています。ご理解、ご協力の程よろしくお祈りいたします。

新しい学年がはじまり1ヶ月が経ちました。子ども達はそれぞれに、お兄さんお姉さんになったことを誇らしげに感じている様子がみられ、小さいクラスの友達に遊具を貸してあげたり、身支度を手伝ってくれたり、泣いている子に「大丈夫？」と声をかけてくれたり、頼もしく優しい姿が見られ、子ども達それぞれの成長の姿に、思わずほっこりできて嬉しく感じます。年長組を中心に「子ども会議“サークルタイム”」が始まりました。(詳しくは、ひでき先生から伝えて貰いますが)、自分とは異なる考えや意見を持つ他者に対してリスペクトを持って関わることの大切さを、大人の後ろ姿からも学んでいくことになると思ひます。私達大人も、あらためて、襟を正して考えていきたいと思ひます♡

### 《知的好奇心の育て方》 「不思議」「面白い！」が栄養源

今回、まさしく上記のテーマで、脳科学のスペシャリスト(医学博士)の瀧靖之先生から、「不思議と感ずること、面白いと思ふことを、楽しく学ぶこと」が「主体的な学び」に繋がり、子ども達が成長し、幸せと感ずる人生を歩んでいく為に必要な「知的好奇心」を育てることになっているということが、脳の発達に即した理由からも明らかになっているという特集が、雑誌「あんふあん」に掲載されておりました。ぜひ皆さまにも読んで頂けたらと思ひ、全ご家庭分を取り寄せましたので、参考にしてみたいと思ひます。

先月の園だよりでもお伝えしましたが、子ども達ひとり一人の「やりたい！」と思ふ気持ちを尊重しながら、思ふ存分にやってみる体験を通して、「面白い! やってみたい! →不思議? と感ずるもの」を大切に、工夫する力や考える力を、あらためてしっかり育てていきたいと思います♡

つい先日も年中組の子ども達と一緒に、空き箱や拾ってきた梅の実、キャップ等を使いながら、ルールも自分達で考えながら、様々なパターンのゲームを考え、創って遊びました。その後も日を重ねて途切れたり増えたりしながらも、少しずつ関わる子ども達が増えてきて、クラスや学年を越えて続いています♪

子ども達は面白い! と感ずると、どんどん遊びを膨らませていきます。何回でも飽きずに繰り返しながら、友達との関わりをつくっていきます。その中では、もちろん上手い出来ない場面も多数発生します。そうした時ほど、丁寧に気持ちを聴きながら、架け橋になれるよう、その子その子の発達や状況に応じて関わり方を工夫し、根気よく見守り、紡いでいくことを、大切にしていきたいと思ひます。

ある時は、大人がちょっとしたきっかけをつくったり、環境や材料を提供したりすることで、子ども達は、更なる工夫やアイデアを出し合い、大人では想像できない世界を創ろうとします。子ども達の遊びが拡がりながら、展開していく様は、本当に凄いパワーだなあとあらためて感ずます☆。

『小学校にいつてからではできない体験＝時間の枠にとらわれずに思ふ存分やってみる体験』を通して育つ集中力や、試行錯誤する中で伸びる思考力を、脳が柔らかい幼児期だからこそ伸ばしていくことが、いかに大切であるかを、あらためて保護者の皆さまと共に共有させて頂き、『小学校にいつても繋がる知的好奇心や、諦めない力』を、ひとり一人の長所を尊重しながら、ゆったりと育てていきたいと思います♡